



Recommended calling QRGs: 7.028, 10.118/10.128/10.133, 14.058, 18.085, 21.058/21.138, 24.908, 28.058/28.158

FEA Net: 7.026 MHz 2300UTC on Saturdays, 14.054 MHz 0800UTC on Sundays

FEA Crossing: 7.025 to 7.030 MHz, from 2330UTC on Fridays

FEA-100 Award: http://www.feacw.net/qrv/FEA-100_Award.htm

Newsletter Editor, FEA Net Manager, Membership Secretary: Nao JO3HPM (jo3hpm@fists-ea.org)

Web Administrator, QSL Manager, Newsletter E-mail Distributor: Harry JL3AMK (webadmin@fists-ea.org)

FISTS members can receive the morsEAsia via e-mail. Please email the web admin with your FISTS#.

Treasurer, Contest & Award Manager: Sugi JK7UST,

<http://www.feacw.net/> or <http://www.fists-ea.org/> (Secondary)

APPENDIX FOR JAPANESE

Articles posted in Japanese were translated to English by the editors. This appendix is the collection of the original Japanese articles.

日本語付録

日本語で投稿された原稿は編集部で英語へ意識して掲載しました。ここでは日本語原稿を掲載します。

初めまして - MASA, JA8UUM, #15019

こんにちは。
会員番号 15019 JA8UUM/及川雅登と申します。

1974年7月に電話級アマチュア無線技士にて開局しました。開局当時はオンエアする事が楽しくて、文字通り毎日オンエアしておりました。そもそもアマチュア無線の資格を取ろうと思い立ったのは小学校5年生の時でした。少年雑誌に綴じ込まれた一枚のCQアマチュア無線普及会のハガキを出したところから始まりました。送られてきたタブロイド判の入会案内新聞を、毎日の様に読みました。どうしても資格を取りたくて両親に相談しましたが、承諾は得られませんでした。それ以後は急速に熱が冷め、やがて忘れてしまいました。高校に入学して初めての学校祭。各クラブの展示に解放された教室を見て回っているとアマチュア無線クラブの展示がされていました。そこに置いてあったFT-200。黒のボディがカッコよく再び「無線がしたい!」と思いました。書店へ行き問題集を購入し次の年の4月に国家試験を受け合格しました。すぐに開局申請し7月に「JA8UUM」のコールサインの免許状が届きました。

開局はTS-520XとRJX-601で行いました。HFのアンテナが間に合わず第一声は自宅アパートのベランダから内蔵ロッドアンテナを伸ばしてRJX-601にて行いました。Es真っ盛りの季節で、A3で3エリアのCQが聞こえておりお呼びしました。そうして高校卒業まで毎日の様にオンエアしていました。大学入学と共に自宅を離れたため無線はQRTとなりました。社会人となり私が所属していた地域のコミュニティでアマチュア無線の講習会を開く事になり事務局に選ばれ、よく行くハムショップへ相談して講習会は実施されました。30名の方が新たにコールサインを取得しました。

その頃モールスによる通信がなくなるという話を聞きました。今まで無線をやっているモールス通信は全く眼中にはなく、モールスは「アマチュア無線を趣味にする人の中でも少数の超マニアックな人たち」と思っていたのです。しかしモールス通信が無くなると聞くと何となく気になりだして、資格だけでも取っておこうと思うようになりました。どうせ受験勉強のし直しなら一番トップの資格を取ろうと思い立ち問題集を購入して勉強を始めました。その年の10月期の国試はモールス受信に不安を抱えての受験で、結果は学科試験のみ科目合格となりあえなく撃沈しました。翌年の4月期の国試目指して受信練習を続けました。中々受信力が伸び悩み、4月期の前に腕試しにと3アマの試験を受けました。こちらは何とか合格しました。とりあえずモールスを叩ける資格は得ました。1アマの受信試験練習をしながら毎日ワッチもしていました。

1アマの受験を終えた1997年4月17日の夜、意を決して遅めのCQに人生初のモールス通信をすべく応答しました。初めて聴く無線機を通してのモールスによる自分のコールサイン。何度も練習したラバースタンプによる交信が進んでいき、何やらラバスタにはないフレーズが!急に心臓は高鳴りとにかく筆記しなくちゃと必死でした。何やら年齢を送ってきている様でした。え〜!相手は小学校5年生の女の子である事が分かりました。その後はラバスタを超える事もなく私の初モールス通信が終わりました。そして5月に1アマの国試の合格通知が届きました。そこからはローカルで行われる2m FMのロールコール以外はCWでのオン

エアが続いて行きました。何年かアマチュア無線環境も変化がなかったのですが、VECによりアメリカのアマチュア無線の資格が取れる事を知りました。クエスチョンプールから試験問題をダウンロードして勉強開始。2009年3月札幌ラジオ会館でのVEC試験を受け、幸いなことに1 day Extraとなりました。その後は転勤や入院などで無線は十二支のQS0パーティを完成させるためにだけオンエアするようになってしまいました。2016年にオールCWによるQS0パーティ十二支達成の盾を手に入れました。

元々語学力が無くDXにも向かわずにいたのですが去年2月にFT8を始め、それからは運用はFT-8ばかりになっています。ですがやはりまたモールス通信もしたいと思うようになり、ごくたまに599形式のCWを行うようになりました。そんな中せめてラバスタQS0がしたいと考え、モールスのリハビリを始めようかと思っております。リハビリが成ってJA8UUMのコールサインが聞こえたら、どうぞお手柔らかに相手下さい。

